

立を宣言して以來、英國から完全に獨立した最初の國である
日本人の心に映る
前首相 東條英機

A F P 通信員 レオン・ブルー

【東京電三日】東條前首相の威信は成行きを憂慮されるほど擴大されて日本人の眼に映つて來てゐる、バル・ヘーバーの奇襲及びシンガポールの攻略に際して頂点に達した彼の人氣は終戦と共に地に墜ち、一種の「駄罪牛羊」になつてゐたところが昨年十二月廿六日以來東條は日本の立場に引受けで天皇にまで除し去られ、完全に除し去られた點で國會議院來米ソ支へオランダンリラライと、来るべき對日交渉の問題として、東條の國外外交通信信員の立場が問題となる。

主義者は此の思想觀に勝ち得る力がないと述べ、善義主張する東條前首相の態度を日本人は古武士の意氣であると、國際裁判犯され判決に目下懲罰されるドマを國技歌舞伎の雑劇と關聯させて考へてゐる諸外國人観測者は斯る局面の變化、といふよりも變つたと信じてゐる。日本が依然其の儘としていふ事實に直面して不安の心をかきし切れない有様である。之等の人々は今回の裁判が結局東條を忠誠の結果に裏しあげるやうな結果になりはしないかといふ疑問を抱いてゐる

制限された生活を耐え忍ぶことを國民に要望したのも、労働全體に極力増産を圖ることを希望した。 謹 謹
拜啓 亥暮の候各位益々御清祥の啟奉大賀候
陳者弊『時報』再刊と同時に御地中心地に支社を設
御用命に應すべき舊に候らひしより順序として御
所に最も名望高き方々に代理を願ひて頗り順く御
社に進め度計企画、誠慮愈々奮職其運びに到達
數年弊『時報』外交員として努力奮闘を繼續し讀者
賢より大いに歡迎せられたる中川忠士氏
パラナ一帶を包含せる弊『支社主任』の引受けを想
るに依り取敢えず明八日聖市出發御地へ赴かしむる
にいたし候間何卒倍舊の御愛護賜り度奉願上候
一九四八年一月七日

<p>中尾藤藏 氏へ告ぐ</p> <p>所次取引 バーカードン、ドントロ、セグ、ドウ コンセレーロ、フルタード街 西中華園</p> <p>福岡縣三井郡上津荒木村字廢山出身</p> <p>中尾藤藏 氏へ告ぐ</p> <p>至急面談致度是非即ち御來駕 バカリスタ延長藤エラカルヌ禪 同村出身 中村萬</p> <p>愛知縣名古屋市西區田幡町出身</p> <p>兄 佐藤宇志藏殿 一日も早く貴方の住所知りたし、本人又は親 じの方は左記御通牒を御詰ひ致します 現在地バカリスタ藤ガリア禪 郵局四〇 アゼンダ、レオボルダーナ 弟 佐藤重</p> <p>洗濯マキナ、トロビーナ付キ價格安ク賣ル 場所(アブリカ)豪賀安シ、御照會は左記ヘ Rua Padre Carvalho, 653 - Pinheiros</p>
--

CASA

吉子魚店
吉春
吉十

洗濯業用 洗濯機 脱水機 蒸氣アーリン
製造發賣元

聖市 フルグ・ダ・ミゼリゴルディアード
電話 三一二〇一

須山商店

右機は日本人の手にて新發明せるものにて勞力の
用なく使用簡便軽が完全撲滅今までに無い殺蟲機
す、右機發明發祥地はノロエヌテ線ビラジエイー
です、ビラジエイー近邊の各位より陸續御注文御
用の方澤山有ます
御希望の方御申越次第カタローグ送る

目下開催中聖市博覽會へ出品

大高評

特約店募集

今や當ビル完全脱却の英羈絆
「ラングン」ビルマ初代大統領
サオ・シュ
一エ・タイクは四日世界諸國民に對しビルマ獨立宣言の第一聲を發したが、右新共和国の國旗掲揚式直後憲法制定議會に臨んだ同大統領は、「我が國民を目して獨立の真の意義を解する能力なし」とした帝國主義的見解は炫に自然消滅した譯である。今日以後我等は失はれた榮譽、隆昌、安泰及び獨立國民であるといふ眞實の回復に努めねばならぬ」今回ビルマは國民全部に均等な機會を保障する聯合共和制を採つた。我等は我國の獨立性並に國家に忠實であらねばならない、又我が國の獨立を愛護する同じ熱意を以て他國の独立も尊む、我等と同じく世界の平和を希ぶ各國々と提携して進もう」と述べた。

はいものゝ、日本との長期戦に引續く内亂と經濟的衰退とによつて其の權威は著しく弱められており、支那の國際的大國といふ地位すら單なる形式上の問題であつて、現實的のものではないといつてよい。然しながら、現在の世界情勢から觀ても、國際政治上の要素としての支那の重要性を輕視するのは大きな間違ひであらう。支那は半ばしめ目醒めてゐない、巨人にたゞへることが出来るが、何れにしても巨人といふこと「異りはない」。四半世紀前(ワシントン會議)の際、較べれば其の國際的地位は長足の進歩を示してゐる、支那外交官の見解には將來に大きな確信をもつたものさへもあるやうに感じられる。而も今回(の長期に亘る戦争)は法的に重要な地位を支那に與へてゐる。今國は國際安全保謹理事會に於て拒否権を有する五ヶ國の中に加へられてゐり、對日理事會では四ヶ國中の一つになつてゐて、太平洋問題を解決する四大國の中に含まれてゐる。極東問題に關して支那はフランスに入れ代つて外相會議に參加する譯であるが、ソ聯が支那を外相會議に對

支那の對外政策の最高目標はヤマタ會議の際の失敗を繰返へさぬといふ点にあります。將來西歐諸國が打破して、難い地位に對外關係を押上けるに至る程度まで成功しろ。然しながら米ソ兩國間の激しい對立の中に介在して支那が現今得てゐる漁夫の利といふものは一時的のものであり又不確實なものである。從つて支那は茲數年間の苦い経験からして、理想的に對抗してゐる之等二大國が又仲直りした際に弱い支那が犠牲にされはせぬともいふ疑念を多分抱いてゐる。

るといふ総會の見解は受容される用意があるが、憲章そのものを修正せしやうといふことは不贅成だ」と聲明した。拒否権を保有する特權の一つとし、支那は自己に對して不都合なことがあつた場合に安全保障理事會の行動を抑止し得る権利を全然失ふことを嫌つたのは明かであるが、特にインドネシア問題に就いて探つた理事会の行動が同一の主張侵犯的傾向を示して以來支那の態度は一層硬化したと見られ。日講和問題に關してはソ聯は大平洋四大國即ち米英ソ支の四國で豫備會議を催すことを主張し、北米は極東委員會に参加し、もろそま議論を開始するといふ意見であつて、専門家によれば、この等多數の高官連中の間に、はツ大統領の侍醫まで關聯してゐたといふので、一大セシエーションを巻き起こしてゐる

内政側と向より北軍の花の湯		聖市歯科大学出身 細川昇	小兒科専門醫 ドトール マリット市アベニーダ ダ本通二八番地西六番	貸間	女中さん募集 十四、五才以上 點附近獨身者父は子供なき 夫婦者に限る ルア・ウルフーバー五〇歳	ドミンゴス・デ・モラエス終	純日本式釣糸(シナバンチ ス印)三味糸其他樂器糸 切製造九 裁原	盛業中のキタンドを格安に て譲り度し 場所 メ・ポン・バスト ル二五五七番 (イビランガ)	求青年 洗濯見習 至急入用、高給支拂ふ Rua Poço Fundo, 18 Tucuruvi 酒井
一度試して皆喜ぶ 温泉工キス分譲		聖市ペヂ街一九七 電話三一七五五九 中央メルカドの近く	停留所ヨリ五〇米 新築二階建、全部十五 全部近代式設備	貸家	聖市イスカマウ 電話三九六 くわね	レ度	聖市ルア・ルイス・ゴ イ・五〇 富	ALFAIATARIA PROGRESSO 平田洋服店	
希望者ハ左記ニ御來様		レ度	場所 ルイス・ゴエス	くわね	聖市イスカマウ 電話三九六 くわね	レ度	聖市ルア・ルイス・ゴ イ・五〇 富	ALFAIATARIA PROGRESSO 平田洋服店	
一度試して皆喜ぶ 温泉工キス分譲		聖市郵局六二 説明書送る	停留所ヨリ五〇米 新築二階建、全部十五 全部近代式設備	貸家	聖市イスカマウ 電話三九六 くわね	レ度	聖市ルア・ルイス・ゴ イ・五〇 富	ALFAIATARIA PROGRESSO 平田洋服店	

仙和西爾特報

發行所 伯利西爾時報社
市カヲル街六三
社長 黒石清作
謄
讀
料
一ヶ年 二百四十
牛ヶ年 百二十
一部 二千五百

LIVRARIA DA PAZ
Shosei Miyagiui
雜誌
日本書培並
平和堂書店
聖市セレス街廿一
電話三一五八六五

誰の補缺多加國縁入りや
うにした事に對しては激烈
抗議が提出され。又西歐
四大國（この意味でけつ聯
も西歐國）の管轄地域はベ
ミール高原以東には伸展し
ないといふ支那の主張は見
事に貫徹した模様であ。

うちわだまきが胸中によつた。支那十一ヶ國全體の出席を要望すると今提
つた約の起草に付いて日講和条約の締結が採られるのである。
やうに態度が採られるのである。
ふう。國聯總會に出席するため英國を出發するに際し、支那外相は「拒否權の行使に對し合意的な制限を加へに參加することを希望」と述べた。これはモスコウ政
府が現南京政府の方針明確な反感を示してゐる。出來るだけ多くの國會に

國に
講和會議、於し支那が全的
に北美へ意を支撑するも
のとは發想で、すな、同國の
貿易席上に於ける動向によ
り大きな關心がもたれてゐる
(筆者ハンキー卿は英國の
政治家)

一月一日より左記の場所へ移轉しました
同卒從々通り宜しく御引立の程を御願ひ申し上げ
ます
— 最新的撮影技術 —
寫 場 完 備 叮 喻 —

Redação, Administração e Oficina:
Rua Caramuru, 63
Caixa Postal, 3730
São Paulo

NOTICIAS DO BRASIL

Assinaturas:
Anual Cr\$ 240,00
Semestral 120,00
Trimestral 60,00
Exemplar 2,00

Diretor-Interino: SEISAKU KUROISHI

Fundado em 1917

Redator-Chefe: SEITOKU ZAKIMI

ANO XXX

SÃO PAULO, 7 DE JANEIRO DE 1948

Circula às Segundas, Quartas e Sextas — N.º 2.670

A Birmânia tornou-se uma República independente

ARRIADO EM RANGOON O PAVILHÃO BRITÂNICO ENQUANTO SURGIA A BANDEIRA DA NOVA NAÇÃO

RANGOON (R.) — Urgente — Nasceu no dia 4 pela madrugada, mais uma República, a da Birmânia, sobre a qual cessou inteiramente a soberania britânica.

A cerimônia da independência consistiu no arranjo do pavilhão britânico e no hasteamento da bandeira da nova República asiática.

RANGOON (R.) — Urgente — A Assembleia Constituinte da

RANGOON (R.) — Urgente — Personalidades políticas da Birmânia e representantes das potências mundiais assistiram à cerimônia da proclamação da República da Birmânia.

Todos os presentes fizeram continência à bandeira britânica, quando esta foi arruada ao som do hino nacional britânico "God Save the King".

No lugar da bandeira britânica, foi içada, então, sob os acordes do hino birmanês, o pavilhão da República da Birmânia. Mais de duas mil pes-

soas assistiram à cerimônia, que foi das mais emocionantes.

DECLARAÇÃO DO PRESIDENTE DA REPÚBLICA BIRMANESA

As 4 h 20 do dia 4 foi proclamada a independência da Birmânia. É este o primeiro país a abandonar a Comunidade Britânica de Nações desde 1776, ano em que os Estados Unidos se tornaram livres e independentes.

Ao instalar-se em Rangun a Assembleia Constituinte do novo Estado, o presidente da nova República, sr. Sao Shwe Thaik, proferiu um discurso na ocasião. Em sua oração, disse o chefe do governo: "O

imperialismo, que nos classificou de incapazes de compreender o verdadeiro sentido da independência, desaparece neste momento, automaticamente.

A partir de agora, reconquistamos plenamente a nossa glória perdida, a nossa prosperidade, nossa tranquilidade e nossa virtude. Respeitaremos a independência de outras nações, com o mesmo entusiasmo com que defenderemos a nossa. Daremos as mãos a todos aqueles que querem, como nós, proteger a paz do mundo".

Os chefes dos governos de

várias nações enviaram telegramas de felicitações aos dirigentes da República da Bir-

mânia. (R e UP).

Apelou o ex-“premier” da Birmânia

RANGUN (R) — O ex-primeiro-ministro birmanês, U Saw, sentenciado terceira última à pena de morte, por cumplicidade no assassinato dos ministros birmaneses, em julho do ano passado, apresentou uma apelação ao Alto Tribunal de Rangun.

Os outros quatro réus, também sentenciados à pena de morte ao mesmo tempo que U Saw, também apelaram.

Nissei do JIHÔ, colaboraram na campanha nissei de “TUDO PELO BRASIL” emitindo suas opiniões sobre o que devemos pensar, sobre o que demos fazer.

“TUDO PELO BRASIL”

二世の聲

科学的精神に生きよ

號

洋裁勉學の好機

信愛洋裁技藝學校

指導校長 笠原正太郎

新學期開始 一月十二日より

聖市タマソダレ街一五七

電話 六三八九〇

ロンドリーナ市ミナス・カエラエス街七四九番

ウニオン樂局上

電話 二二六番

南洋巡禮奇譯

(17)

T

・

A

生

實話錄

八丈島の人々は驚いた、あ

京青山共同墓地は大供養塔

大工の半右衛門が二、三

年の中の半右衛門が二、三

年の中の半右衛門が二、三